

＜財政状況＞

①決算収支

(千円・%)

区分	平成27年度決算	平成28年度決算	増減率
歳入	26,340,409	26,475,459	0.5
歳出	24,837,546	25,438,038	2.4
形式収支	1,502,863	1,037,421	-
実質収支	1,304,685	922,341	-
単年度収支	240,936	△ 382,344	-
実質単年度収支	443,085	△ 390,121	-

②主な歳入・歳出(平成28年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	26,475	-	135	0.5
地方税	10,046	37.9	73	0.7
地方交付税	4,166	15.7	580	16.2
国庫支出金	3,429	13.0	△ 144	△ 4.0
地方債	2,139	8.1	288	15.6
うち臨財債	1,028	3.9	△ 221	△ 17.7
その他	6,695	25.3	△ 662	△ 9.0
うち繰入金	444	1.7	119	36.6
歳出	25,438	-	600	2.4
義務的経費	12,936	50.8	39	0.3
人件費	4,127	16.2	△ 6	△ 0.1
扶助費	6,255	24.6	228	3.8
公債費	2,554	10.0	△ 183	△ 6.7
投資的経費	2,216	8.7	602	37.3
普通建設事業費	2,216	8.7	609	37.9
うち補助	57	0.2	△ 178	△ 75.7
うち単独	2,151	8.5	796	58.7
その他の経費	10,286	40.5	△ 41	△ 0.4
うち繰出金	2,506	9.9	148	6.3

③主要指標(平成28年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (12.78)
連結実質赤字比率	- % (17.78)
実質公債費比率	4.4 % (25.0) [6.9]
将来負担比率	- % (350.0) [36.4]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成29年度)	0.747	[0.697]
経常収支比率	93.8 %	[90.2]
標準財政規模(平成29年度)	15,036 百万円	[15,216]
地方債現在高(A)	24,597 百万円	[24,964]
債務負担行為支出予定額(B)	6,283 百万円	[4,655]
積立金現在高(C)	6,643 百万円	[7,523]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	24,237 百万円	[22,096]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成28年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人(構成比)	4,308,065 (42.1)	4,226,712 (42.1)	98.1 [95.3]
市町村民税・法人(構成比)	669,327 (6.5)	655,438 (6.5)	97.9 [98.4]
固定資産税(構成比)	3,961,272 (38.7)	3,881,024 (38.6)	98.0 [94.8]
市町村税合計(国保除く)	10,242,303	10,045,598	98.1 [95.5]

＜公共施設整備状況＞(平成28年度) ※1は平成29年度

小学校 ※1	11 校	プール	2 か所
中学校 ※1	6 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	4 園	老人福祉施設	39 か所
保育所 ※1	10 か所	病院・一般診療所	49 か所
認定こども園 ※1	4 園	道路改良率	58.4 %
図書館	1 か所	道路舗装率	79.5 %
公営住宅	168 戸	上水道等普及率	79.3 %
公民館等	1 か所	污水処理普及率	91.9 %
体育館	2 か所		

＜主要施策等＞

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
賑わいの創出と定住促進	H27～	牛久沼の周辺整備や佐貴駅周辺地域整備基本構想を踏まえ、佐貴駅を起点とした賑わいの創出を図る。	3
若者・子育て世代の住み替え支援	H27～	市内に住宅を初めて取得した若者・子育て世代への支援を実施することにより、子育て環境の充実に図り、定住を促進する。	42
道の駅の設定	H27～	道の駅の設定に向けて、基本計画を踏まえ、工事設計等を実施する。	205
保育環境の充実	H28～	駅前こどもステーションの運営のほか、保育所の受入体制の充実、ファミリーサポートセンター・リフレッシュ保育の充実など保育サービスの充実に図る。	53
スポーツによる交流人口の増加	H29～	国民体育大会の開催に向けて準備をすすめていくとともに、リハーサル大会として国体関東ブロック大会を開催するなどして交流人口の増加を図る。	15

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p>＜主要課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の推進 ・人口減少、少子高齢化社会への対応 ・定住の促進 ・公共施設再編成の取組 ・佐貴駅東口駅前広場の整備及び牛久沼を含めた佐貴周辺地域の活性化 ・常磐線佐貴駅の駅名改称 ・道の駅の整備事業 <p>＜特色ある行政＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍・流連携事業(流通経済大学との連携) ・若者、子育て世代に対する住宅取得補助 ・「ふるふ龍ヶ崎」の発刊 ・学校給食費の無料化(第3子以降) ・高校3年生までのマルフク拡大 ・たつこの預かり保育利用助成事業(子育て支援サービスの費用一部助成) ・駅前こどもステーション事業 ・農作物直売所の設置
